

第6回 PSLX 技術委員会アドホック会議 (OASIS PPC-TC 合同)

日時：2007年6月25日(月) 14:00~18:00

場所：製造科学技術センター (MSTC) 第一会議室

出席者 (敬称略・順不同)

西岡靖之 (PSLX), 和田浩一 (PSLX), 松川信也 (日立電線), 山本明人 (光電製作所), 岡宗秀一 (PSLX), 水谷雅宏 (日本ユニシス), 鈴木健司 (三菱電機), 川内晟宏 (プロセス経営研究所), 杉修 (書記・PSLX), 小林秀行 (PSLX) 12名

配布資料

[1] 前回議事録

[2] OASIS PPS-TC Voting

[3] PPS Part 1: Core Elements Committee Draft 02, June 25th, 2007 【日本語版】

[4] PPS Part 2: Transaction Messages Committee Draft 01, June 25th, 2007 【日本語版】

[5] PPS Part 3: Profile Specifications Committee Draft 01, June 25th, 2007 【日本語版】

[6] PPS Part 1: Core Elements Committee Draft 02, June 25th, 2007 【英語版】

[7] PPS Part 2: Transaction Messages Committee Draft 01, June 25th, 2007 【英語版】

[8] PPS Part 3: Profile Specifications Committee Draft 01, June 25th, 2007 【英語版】

[9] PSLX 情報モデル

[10] 平成19年度IMS研究成果報告会・アイデアファクトリー総会のご案内

[11] 第9回ARCジャパンフォーラム

[12] ものづくりAPSレター No.16 2007.06.18

[13] ものづくり技術ロードマップ報告会

(1) 前回議事録確認

※前回議事録の説明があり,承認された

(2) 日本語版委員会承認ドラフトと英語版パブリックの確認

●パート1

※前回と大きな変更はなく,日本語版と英語版を対比させ確認が行われた

※Contributors についての議論があり, individual を増やすときに決まった

※英語版と日本版ともに単語のスペルチェックをすることとなった

●パート2

※ワイルドカードの仕様について perl や Java の文法をすべて網羅することができないため, perl の仕様を参考にする事となった

※日本語版の構成を修正中であるため英語版の P27,28 は保留の状態であるとの報告があった

※構成については議論が尽くされたとの見解があり承認される事となった

●パート3

※パート3に限っては前回の会議において投票までの議論に至らなかったとの説明があった

※英語版をベースに構成を変えたとの報告があった

※(Part3 p.9(英))の Figure 1 Structure of profile specifications において矢印の方向が継承であるため逆ではないかとの意見があり,議論の結果矢印の方向を変更した

※矢印を変更したため, extends と selects の意味が誤解を招くとの意見があり, extended と selected に変更となった

- ※パート 3 においても日本語や英語の間違いを再度確認することとなった
- ※パート 3 の仕様はパート 1 の仕様を参考に作られているので追加はできるが、変更は基本的にできないとの説明があった
- ※Domain document と Domain object の違いについて説明を求める意見があり、Domain document をベースとして Object が構成されているとの説明があった
- ※(Part3 p.15(英))programCommon profile definitions において(Domain object)Domain property は n 個あるとの表現に図を変更した
- ※profile を作っている順番において,Standard はひとつしかないのかという意見があった
- ※複数のアプリケーションの範囲において Domein と common の境界線に関する議論があった
- ※(Part3 p.15(英))の図に関する適用範囲の議論の結果, Common profile definitions は Application profile definitions に変更となり, Profile Document は Application profile documen に変更することとなった.また日本語版の仕様に関しては“適用”を“アプリケーション”に変更してはどうかという意見があったが,カタカナではなく日本語の方がよいとの意見があり,“応用”や“合意”表現してはどうかという意見が出た
- ※(Part3 p.15(英))メッセージの存在のありかを web に置いておくだけで済むファイルにできれば実装上の多くの問題が解決するのではないかという意見があった

(3) 話題提供

- ※鈴木氏から ISO 20242 に関する話題提供があった.
- ※profile に関する OASIS-PPS の相違点についての説明があった

(4) PSLX 情報モデル

- ※PSLX 情報モデルについてのおおまかな説明があった
- ※共通オントロジにおいて,#Place は#Period や#Region に比べて範囲が広いのではないかという意見があり,#Place を#Address に変更してはどうかという意見があった

(5) その他

次回予定

2007 年 7 月 18 日 (水) 10 : 00 ~ 第 7 回 PSLX 技術委員会

2007 年 8 月 20 日 (月) 13 : 00 ~ 第 6 回 アドホック会議 (OASIS PPS 合同)

以上